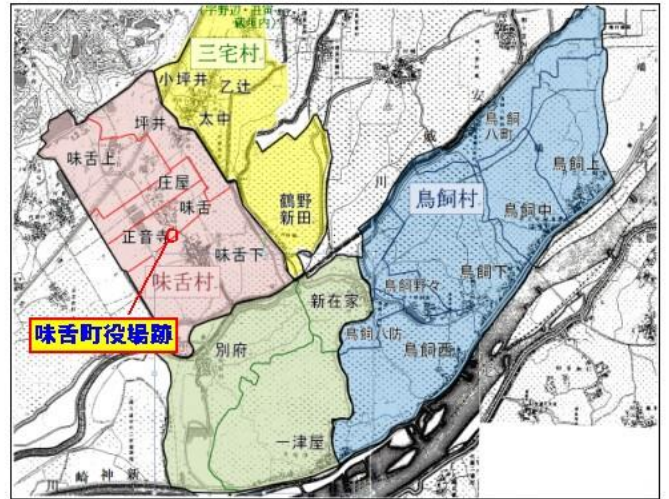


## 昭和の大合併で姿を消した公共施設

### 味舌町役場跡

1. 名称 ましたちようやくば  
味舌町役場
2. 所在地 摂津市正雀1丁目1-2  
現市立味舌体育館
3. 所在期間 1950年（昭和25年）～  
1956年（昭和31年）
4. 現在 農林水産省三島出張所、味舌保育所、正雀保育所を経て市立味舌体育館
5. 沿革 しましもぐんましたしもむら  
1889年（明治22年）4月1日 - 町村制の施行により、島下郡味舌下村・  
ましたかみむら つぼいむら しょうやむら しょうおんじむら ましたむら はま  
味舌上村・坪井村・庄屋村・正音寺村・味舌村（浜）の区域を  
ましたむら  
もって味舌村が発足。 初代村長は、村山為三郎氏  
1896年（明治29年）4月1日 - 所属郡が三島郡に変更。  
1950年（昭和25年）4月1日 - 味舌村が町制施行して味舌町となる。  
1956年（昭和31年）9月30日 - あじふむら とりかいむら味生村・鳥飼村と合併して三島町が発足。  
同日味舌町廃止。  
合併当時の味舌町の面積は3.06km<sup>2</sup>。  
人口7,946人（国勢調査、1955年）



### 6. 代表的な歴史遺産

めいわけいせき しましもんなんぶじょうり はちずか  
明和池遺跡・島下南部条里・蜂塚・  
ふどうみょうおうりつぞう やさかのくす こやすじぞう  
不動明王立像・弥栄の樟・子安地藏・  
ましたてんまんぐう  
味舌天満宮



味舌町役場



歴史指標設置セレモニー（2022年5月21日）



味舌体育館（2022年3月完成）



めいわいけ

### 明和池遺跡 摂津市千里丘新町

弥生時代後期(約2000年前)から戦国時代までの7つの時代の層が発見。竪穴建物跡や、須恵器が大量に出土した。市内最古の居住跡の出土。



### 蜂塚 摂津市千里丘3丁目10-5

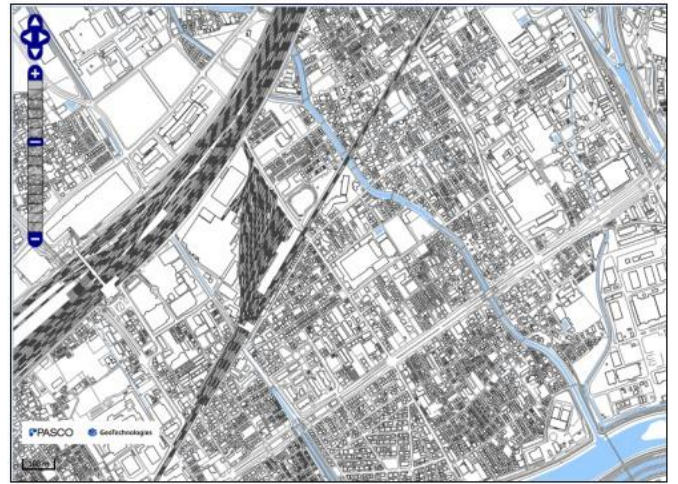
応仁年間(1467~68年)のころ、盗賊が出没し、村人たちに悪事をはたらいた。村人たちは盗賊との戦いに万策尽き、金剛院の本尊に盗賊追放の祈願をしたところ、本殿から数百匹の蜂が群れをなして飛び出し、盗賊たちに襲いかかり追い払った。

その時、戦って死んだ蜂を埋葬し供養塔を建てた。それがこの蜂塚である。



### 弥栄の樟 摂津市千里丘東5丁目3

天保14年(1843年)9月の島下郡味舌郷の凶面に金剛院待、と記されている弥栄の樟は、かつてこの付近も金剛院の一部であったことを物語っている。聖武天皇の植樹という伝承があり、昭和初期の味舌村は「弥栄の樟」と命名し暑く保護した。



### 条里制(島下南部条理) 摂津市味舌地区

条里制は古代(7~8世紀)に行われた土地区画整理制度。6町(約654m)四方を里と呼び、1町四方を坪と呼ぶ。境川より東側は東西南北に正確に、西側は西に33度傾く。



### 不動明王立像 摂津市千里丘3丁目10-5

昭和45年2月20日大阪府指定有形文化財に指定。金剛院の護摩堂の本尊、不動明王立像は寄木造りの等身像で、その手法から推察して平安後期の作と推定される。



### 味舌天満宮 摂津市三島3丁目9-3

奈良柳本藩織田大和守尚長は味舌生まれで、織田信長とは十三歳違いの弟である織田有楽斎長益の五男でもあり、寛永12年(1635年)に現社殿(本社本殿及び摂社八幡神社殿)を造営した。本社本殿と摂社八幡神社本殿は細部の様式すべて同一であり擬宝珠銘も全く同じである。平成5年11月24日に大阪府指定有形文化財に指定。